

447 タイムラインに沿って対応事項を進める低平地での豪雨対策

取組主体【掲載年】	法人番号	事業者の種類【業種】	実施地域
河北潟沿岸土地改良区 【平成 29 年】	2700150049351	その他事業者 【農業、林業】	石川県

- 河北潟沿岸土地改良区は、金沢市北部から西南部に位置し、当地域は河北潟に向かって緩傾斜する低平地にあり、合計 23 の排水機場を活用した排水及び用水供給を行っているが、平成 10 年 9 月の豪雨では受益地の多くで 50cm 以上湛水するなど、湛水被害に悩まされてきた。
- そこで、「台風等接近に伴う豪雨災害への対応」を念頭においた「事前行動計画」を定め、水位やポンプの稼動状況の確認等については、台風等接近の 24 時間前、12 時間前、6 時間前等タイムラインに沿った対応事項と実施者、実施場所を規定している。これにより湛水被害を防ぐために「いつ、どこで、誰が、何をすべきか」を明確化している。
- また同改良区では、排水ポンプ設備の合理的な管理を行うため、18 機場に「状態監視」「情報収集」等を目的とした遠隔監視システムを導入・運用することにより、パソコンやスマートフォン、携帯電話等、インターネットに接続した機器で、機器の運転状況、故障等の警戒情報、内水位、外水位などの情報が把握でき、豪雨状況に迅速に対応した運転が可能となるよう体制を整えている。



▲排水機場遠隔監視システム